

美和ダム 三峰川バイパスの試験運用速報（その2）

～ 台風9号による洪水で試験運用を実施しました。～

バイパス放流の速報

注) ここに表示されているデータは速報値です。

美和ダムでは、台風9号の影響による洪水のため洪水調節を実施しました。最大流入量は約568 m^3/s 、最大放流量は約428 m^3/s で、そのうち三峰川バイパスより、H19/9/6 22:30～9/8 22:40の約48時間、最大約264 m^3/s の放流を行いました。今回の速報では、洪水時の濁りの状況と施設の点検結果について報告します。



【速報値】

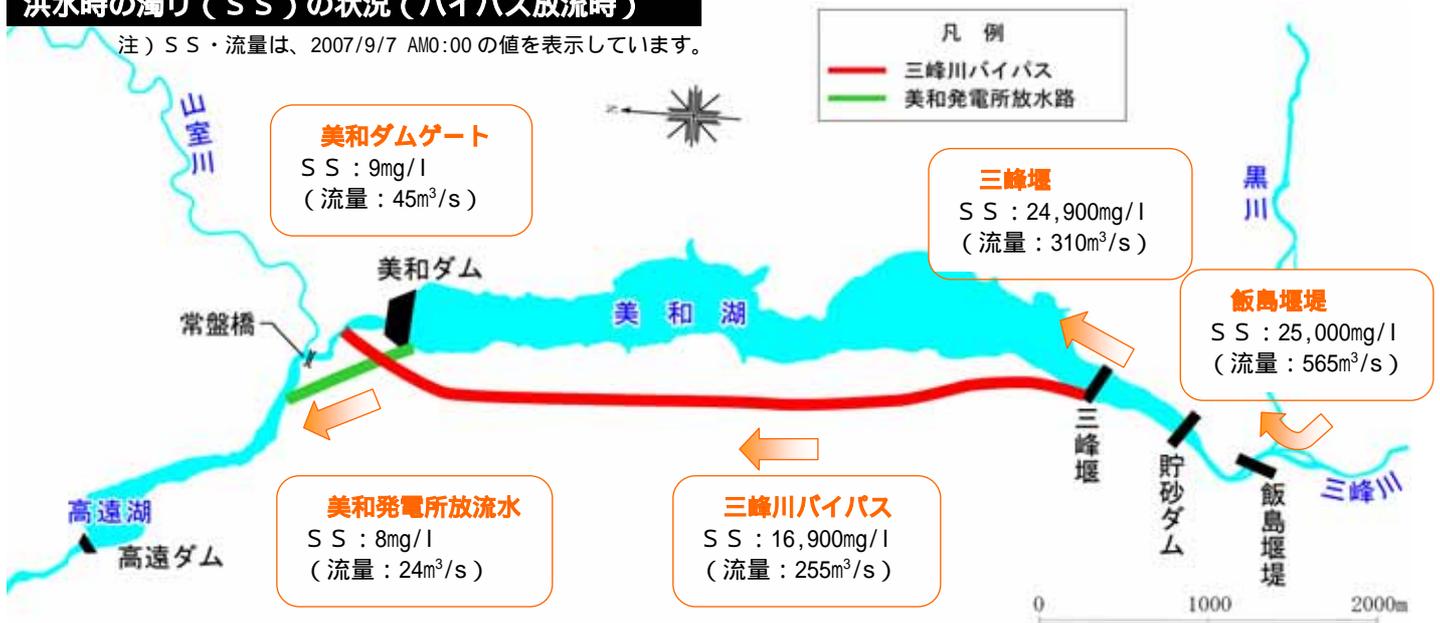
| | |
|--------------|---|
| 三峰川バイパス最大放流量 | : 約264 m^3/s (2007/9/7 00:10) |
| 美和ダム最大放流量 | : 約428 m^3/s (2007/9/7 00:20) |
| 美和ダム最大流入量 | : 約568 m^3/s (2007/9/6 23:50) |
| 総雨量 (流域平均) | : 約254 mm (2007/9/5 11:00～9/7 12:00) |

洪水時の濁り (SS) の状況

美和ダム最大流入時の濁り(SS)は、飯島堰堤でSS 25,000 mg/l 、三峰堰でSS 24,900 mg/l 、三峰川バイパス放流水がSS 16,900 mg/l 、美和ダム放流水がSS 約10 mg/l でした。

洪水時の濁り (SS) の状況 (バイパス放流時)

注) SS・流量は、2007/9/7 AM0:00の値を表示しています。



< 語句説明 >

SS (浮遊物質) ... SSとは、水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性の粒子状物質の濃度のことで、水の濁りの度合いを表す指標として用いられています。

試験運用後の点検結果速報

試験運用後、三峰川バイパス内の簡易点検を実施しました。

三峰川バイパスでは、平成17年5月の試験運用開始以降最大の放流量となりましたが、施設に異常はありませんでした。



主ゲートの状況



三峰川バイパス内の状況